



病院などに交付された特殊詐欺被害抑止モデル事業所のプレート(京都市中京区・洛和会丸太町病院)

特殊詐欺被害注意呼び掛け

## 病院 モデル事業所に

府警初指定

京都府警は8日、京都市内の病院や福祉施設など8カ所を「特殊詐欺被害抑止モデル事業所」に指定した。高齢者と接する機会が多い施設と連携を深め、日常的に被害に遭わないよう注意を呼び掛ける。

今回、指定したのは洛和会丸太町病院(中京区)や介護老人保健施設(同)など。モデル事業所の指定は府内初。指定を受けた各施設では、介護職員が高齢者の送迎時に家族や本人に特殊詐

欺への注意を促したり、警察官が高齢者対象の防犯教室を開いたりする。随時、施設内に相談所を開設し、迅速な事件解決につなげる。

中京署では同日、指定書の交付式が行われた。府警幹部からプレートを受けた洛和会の矢野一郎理事長は「高齢者に注意をしてもらうことで、特殊詐欺事件が根絶できることを期待したい」と話した。

府警によると、2015年の特殊詐欺事件は168件(計7億9500万円)で、被害者の76%が高齢者だった。今年も計11件が発生し、約3千万円の被害(2月末現在)が確認されている。(宇都寿)